

実践教育研究発表会 2024

2024. 8. 16～8. 17

大会テーマ 「 持続可能なものづくり ・ ひとづくり 」

2024年度の実践教育研究発表会（東京大会）が8月16日から17日までの日程で、東京都小平市の職業能力開発総合大学校（職業大）で開催されました。大会は「持続可能な未来へものづくり・ひとづくり」を大会テーマに掲げ、対面とオンラインとのハイブリッド開催に向けて、大会運営委員会および実行委員会によりいろいろな企画が準備されました。猛暑と台風の最中、1日目約90名（内オンライン約50名）、2日目約110名（内オンライン約50名）の参加者により発表や討議、情報交換、交流が行われました。

3系共同の企画である特別講演では、「技能五輪国際大会選手強化訓練と技能分析スタジオを活用した未来」というテーマで職業能力開発総合大学校 技能分析・情報通信ユニット教授の菊池拓男氏の講演が行われました。

講演では、技能五輪国際大会に向けた選手強化訓練方法とそれを支える最新の技能分析スタジオとその効果についての紹介や未来の技能五輪選手の育成への取組み課題などについて説明がありました。



発表会開催校



特別講演の様子

各専門部の企画もそれぞれ行われました。機械系では、「技能五輪・ものづくり大会と人材育成」というテーマでシンポジウムが行われました。シンポジウムでは、齋藤英二氏、本間義章氏、武雄 靖氏の基調講演があり、その後各競技会やその人材育成に関する課題などについて活発な討論が行われました。

電気・電子・情報系では、「職業大DX対応研修で活用した訓練機器」の見学会、また「ものづくりコンペ2024 (SDG`sの目標に沿った作品募集)」の結果発表と上位入賞者のプレゼンテーションが行われました。

建設系では、第7回建築設計競技会（テーマ「健康配慮住宅」）の受賞者の発表とプレゼンテーションが行われました。

一般講演では機械系22件（内オンライン7件）、電気・電子・情報系17件（内オンライン11件）、建設系11（内オンライン4件）、能力開発系12件（内オンライン6件）の発表がありました。ポスターセッションは今回発表がありませんでした。

企業展示は、台風の影響で今回は中止となりました。

全体交流会も台風のため、今回は中止となりました。尚、機械系競技会の表彰式は機械系総会と共に行われました。



一般講演の様子



機械系企画（シンポジウム）の様子